

ワレモコウ

Sanguisorba officinalis L.
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育環境である草地が開発の影響を受けて減少している。

分 布

北海道～九州に分布する。県内各地の山野に個体数が少ないが広く分布する。

種の特徴

日当たりの良い山野に生える多年生草本。地下茎は太くて短い。根出葉は長い柄があり、羽状複葉、小葉は細長い楕円形、細かい鋸歯がある。花期は7～10月。秋に茎を伸ばし、その先に穂状の可憐な花をつける。穂は短く楕円形、暗紅色に色づく。

生育を脅かす要因

草地開発、自然遷移が生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○			○				○			○	○	○

チングルマ

Sieversia pentapetala (L.) Greene
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも限定される。1山域にのみに生育する。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では大野市の亜高山帯に分布する。

種の特徴

高山の雪渓周辺の草地や砂礫地に生える小低木。高さは3～10cm程度。枝は地面を這い、群落を作る。葉は羽状複葉。花期は6～8月。花茎の先に3cmほどの白い花を1つ咲かせる。花後、花柱は伸びて放射状に広がる。

生育を脅かす要因

産地局限、温暖化、登山者による踏みつけが生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

タカネナナカマド

Sorbus sambucifolia (Cham. et Schtdl.) M.Roem.
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が限定される。1山域のみに確認される。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布する。県内では奥越地方に確認される。

種の特徴

亜高山から高山の森林の林縁や低木林に生育する。樹高は1～2mになる。葉は互生し、奇数羽状複葉、小葉は狭卵形で、先端は鋭くとがり、基部は鈍形になり、縁には全体に鋭鋸歯がある。花期は6～7月。枝先に複散房花序をだし、白色でやや紅色の花をつける。

生育を脅かす要因

産地局限、自然災害、温暖化の進行が生育を脅かす。

参考文献 佐竹ほか（1988）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	